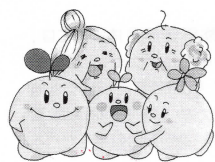


社会福祉法人 鶴田町社会福祉協議会



幸せの種まき運動事業
イメージキャラクター
「種まきファミリー」

ふれあいひろば



題字 梅沢保育所 なりた つばささん

鶴田町老人クラブ連合会「芸能発表会」開催

6月22日、鶴遊館「ふれあい広場」において、3年ぶりに「芸能発表会」が開催されました。

今回、令和4年度青森県文化賞を受賞された尾原家万次郎女さんをお招きし、津軽手踊りを披露していただきました。

当日はおよそ200人の観客が見守る中、日本舞踊やフラダンス、カラオケなど日頃の練習の成果を披露し、訪れた方々を楽しませていました。



オープニング～登山囃子 お山参詣 下山囃子～



フラダンス



尾原家万次郎女さん～津軽手踊り～



「一番マクロの謳」舞踊



「東京アンナ」熱唱



「河内おとこ節」舞踊



一戸 平ニショー



表彰伝達式の様子
尾原家万次郎女さん(左) 中野会長(右)

発行

〒038-3503

〇編集と発行

〇印

刷

青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字沖津193

鶴田町社会福祉協議会 TEL. 22-3394 FAX. 22-6322

HPアドレス: <http://tsuruta-syakyo.or.jp/>

有限会社 アート印刷



鶴田町社会福祉協議会HP



この広報は、赤い羽根共同募金の配分金によって発行しています。

令和4年度 事業実績報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、感染状況に応じて事業を進めてまいりました。地域住民と共に生活課題の解決では、地域福祉事業の「幸せの種まき運動」福祉デイは、感染症終息の兆しが見えないことから、年度当初より事業中止としました。ほのぼの交流事業は、27地区で190名のほのぼの交流協力員が地区の高齢者等の見守り活動を実施したことで、民生委員児童委員より生活課題やニーズの把握につながりました。

社会福祉法人等との連携では、団体の名称を「鶴田町地域貢献推進協議会」とし、鶴田町内7法人に相談窓口「つなぐ!!つながる!!暮らしのよりどころ相談所」を開設し、196件の相談がありました。この相談を継続し、社会福祉法人等と地域・社協がつながり、解決に向けた生活支援サービスの充実を図ります。

子どもの居場所の開設では、令和4年度から新たに実施した事業で、事業の名称を「みんなの居場所育〜 Hug(ハブ)〜」とし、令和5年1月から日曜日(隔週月2回)にサポーター(ボランティアスタッフ)の見守りの中で、自主遊び(運動・ゲームなど)や自主学習(宿題・読書など)を行うことができる子ども達が安心して過ごせる居場所を提供して、子どもをきっかけとした多世代間交流や地域コミュニティの形成にもつなげていくことを目指します。

介護保険事業・障害福祉サービス事業では、介護保険事業収入は1,030万円の増収、訪問看護事業の医療保険収入は前年比41万円の増収、障害福祉サー

ビス事業収入は前年比30万円の増収となり、介護保険事業等全体としては、1,101万円の増収となりました。増収の主な要因は、新型コロナウイルス感染症の感染等に伴い、訪問施設等の利用休止が長期間にわたり、訪問介護事業で大幅な収入減となりましたが、介護職員等の処遇改善を図るため、特定処遇改善加算を令和4年5月から、ベースアップ等支援加算を令和4年10月から取得したことが増収につながりました。

今後も安心してご利用いただけるように、感染予防対策を継続してサービス提供をいたします。

鶴田町で策定した鶴田町地域福祉計画を受けて、これまで未策定の鶴田町社会福祉協議会地域福祉活動計画(令和5年度～令和7年度)を策定しました。

この計画は、社会福祉協議会が呼びかけて、地域住民や関係機関、福祉団体などと相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

策定委員会・作業部会の意見を踏まえて策定しましたので、今後も様々な活動者や活動団体、地域住民等との協働により、ともに生きる豊かな地域社会の実現を目指します。最後に、新型コロナウイルス感染症の影響による制限が緩和されたことから、感染予防対策を行いながら、当協議会の基本理念・基本目標をもとに策定した地域福祉活動計画の事業を推進してまいります。

令和4年度 決算報告

資金収支計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

事業活動計算書

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

貸借対照表

令和5年3月31日現在

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	
	会費収入	3,836,100
	寄附金収入	1,180,350
	経常経費補助金収入	8,551,665
	受託金収入	69,040,406
	貸付事業収入	1,382,787
	事業収入	7,020,605
	介護保険事業収入	345,615,829
	就労支援事業収入	2,346,915
	障害福祉サービス等事業収入	38,183,613
	医療事業収入	17,607,453
	受取利息配当金収入	2,114
	その他の収入	4,589,587
	事業活動収入計(1)	499,357,424
支出		
人件費支出	326,606,547	
事業費支出	55,857,923	
事務費支出	59,470,578	
就労支援事業費支出	2,240,897	
貸付事業支出	1,103,000	
共同募金配分金事業費	809,667	
分担金支出	180,500	
助成金支出	230,000	
負担金支出	732,000	
支払利息支出	5,918,854	
事業活動支出計(2)	453,149,966	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	46,207,458	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	設備資金借入金元金償還支出	19,440,000
	固定資産取得支出	2,010,533
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,986,380	
支出		
施設整備等支出計(5)	24,436,933	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-24,436,933	
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	7,358,874
	その他の活動による収入	0
	その他の活動収入計(7)	7,358,874
	基金積立資産支出	2
	積立資産支出	8,467,120
その他の活動による支出	4,118,640	
支出		
その他の活動支出計(8)	12,585,762	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-5,226,888	
予備費支出(10)	—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	16,543,637	
前期末支払資金残高(12)	196,819,892	
当期末支払資金残高(11)+(12)	213,363,529	

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	収入	
	会費収益	3,836,100
	寄附金収益	1,180,350
	経常経費補助金収益	8,551,665
	受託金収益	69,040,406
	貸付事業収益	56,090
	事業収益	7,020,605
	介護保険事業収益	345,615,829
	就労支援事業収益	2,346,915
	障害福祉サービス等事業収益	38,183,613
	医療事業収益	17,607,453
	その他の収益	4,589,587
	サービス活動収益計(1)	498,028,613
	費用	
人件費	327,055,013	
事業費	55,857,923	
事務費	59,470,578	
就労支援事業費用	2,240,897	
共同募金配分金事業費	809,667	
分担金費用	180,500	
助成金費用	230,000	
負担金費用	732,000	
減価償却費	26,665,537	
国庫補助金等特別積立金取崩額	-3,818,535	
徴収不能額	0	
その他の費用	0	
サービス活動費用計(2)	469,423,580	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	28,605,033	
収益	受取利息配当金収益	2,114
	サービス活動外収益計(4)	2,114
サービス活動外増減の部	支払利息	5,918,854
	サービス活動外費用計(5)	5,918,854
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-5,916,740
経常増減差額(7)=(3)+(6)	22,688,293	
特別増減の部	特別収益計(8)	0
	固定資産売却損・処分損	4
費用	国庫補助金等特別積立金積立額	390,000
	特別費用計(9)	390,004
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-390,004
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	22,298,289	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	287,362,194
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	309,660,483
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	0
	その他の積立金積立額(16)	3,204,178
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	306,456,305

勘定科目		当年度末
資産の部	流動資産	251,807,834
	現金	184,255
	預金	185,112,952
	事業未収金	66,484,149
	立替金	3,278
	前払金	23,200
	固定資産	642,169,168
	基本財産	499,133,653
	建物	489,133,653
	定期預金	10,000,000
	その他の固定資産	143,035,515
	建物	1,026,001
	構築物	9,130,393
	機械及び装置	3
車輦運搬器具	838,861	
器具及び備品	7,816,997	
器具及び備品	3,493,056	
有形リース資産	2,455,200	
無形リース資産	992,157	
貸付金	70,714,970	
退職手当積立基金預け金	31,529,546	
退職給付引当資産	2,911,600	
退職積立資産	1,551,491	
たすけあい資金欠損補填積立資産	287,150	
福祉基金積立資産	8,000,090	
設備資金積立資産	2,288,000	
設備等整備積立資産	893,977,002	
資産の部合計	893,977,002	
負債の部	流動負債	75,201,507
	事業未払金	36,241,181
	1年以内返済予定設備資金借入金	19,440,000
	1年以内返済予定リース債務	2,883,996
	預り金	531,223
	職員預り金	1,296,901
	前受金	375,000
	賞与引当金	14,433,206
	固定負債	393,871,568
	設備資金借入金	285,600,000
	リース債務	3,115,452
	退職給付引当金	105,156,116
	負債の部合計	469,073,075
	純資産の部	基本金
基本金		10,000,000
国庫補助金等特別積立金		96,320,891
国庫補助金等特別積立金		96,320,891
その他の積立金		12,126,731
たすけあい欠損補填積立金		1,551,491
福祉基金積立金		287,150
設備資金積立金		8,000,090
設備等整備積立金		2,288,000
次期繰越活動増減差額		306,456,305
次期繰越活動増減差額		306,456,305
(うち当期活動増減差額)		22,298,289
純資産の部合計		424,903,927
負債及び純資産の部合計		893,977,002

※ なお、令和4年度決算書の詳細、現況報告書及び令和5年度事業計画総括事項、収支予算書等を鶴田町社会福祉協議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。
<https://tsuruta-syakyoo.or.jp/>

鶴田町社会福祉協議会

6月30日、任期満了に伴い役員が選任されました
(理事13名、監事3名)

任期：令和5年6月30日～令和7年6月定時評議員会開催日まで



理事(再任)
須郷 恵



常務理事(再任)
秋庭 隆貢



副会長(再任)
神 秀次郎



会長(再任)
中野 撃司



理事(再任)
花田 柳太郎



理事(再任)
寺山 柱雄



理事(再任)
福澤 紀子



理事(再任)
三上 孝生



理事(再任)
齋藤 稔



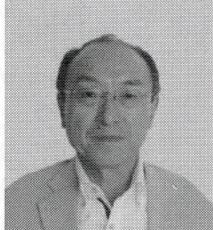
理事(再任)
栗田 勝雄



理事(新任)
太田 勉



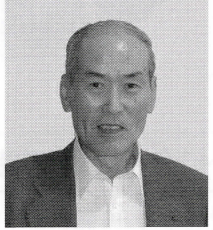
理事(再任)
一戸 勇



監事(再任)
一戸 雅人



監事(再任)
工藤 正弘



代表監事(再任)
赤城 敦



理事(再任)
坂本 睦子

丹頂の集い

「田舎館村田んぼアートツアー」参加者募集

◆予定日 令和5年9月5日(火)、6日(水)、7日(木)

◆時間 13時社協発 16時社協着

◆コース 鶴遊館→田舎館村役場→

道の駅いなかだて「弥生の里」→鶴遊館

◆申込 右記日程の内、いずれかの日を希望願います。

また、参加者の住所・連絡先・緊急連絡先を

確認しておりますので、お知らせください。

◆締切 令和5年8月21日(月)まで

◆対象者 介助を要さない、ひとり暮らし高齢者の方。

◆送迎 送迎希望者は、申込みの際お知らせ下さい。

◆事務局 鶴田町社協 地域福祉課 神・木村

鶴田町上下水道協会

水道設備の無償点検ボランティア活動実施

6月19日、鶴田町上下水

道協会(山田松男会長)は

町内を回って水道設備の点

検、修繕をするボランティア

活動を7年ぶりに行いま

した。

町内の9業者から11人が

参加し、高齢者世帯で希望

された計29世帯を訪ね、蛇

口の漏水の修繕や、トイレ

や風呂場などの水が正常

に流れているかなどを無償

で点検しました。



一般介護予防事業 in 鶴遊館

メニュー	8月		9月		10月		時間
	7日(月)	17日(木)	11日(月)	25日(月)	16日(月)	30日(月)	
ノルディック・ウォーク	7日(月)	17日(木)	11日(月)	25日(月)	16日(月)	30日(月)	10時~10時30分
ヨガ	1日(火)	9日(水)	12日(火)	19日(火)	10日(火)	24日(火)	10時~11時
フラダンス	4日(金)	10日(木)	15日(金)	29日(金)	17日(火)	31日(火)	
ココリラ体操	※中止		13日(水)	27日(水)	11日(水)	25日(水)	
ポッチャクラブ	2日(水)		21日(木)		12日(木)	26日(木)	
書道クラブ	3日(木)		14日(木)	28日(木)	5日(木)	19日(木)	10時~11時30分
ゴニソクラブ	18日(金)	25日(金)	15日(金)	22日(金)	10日(火)	24日(火)	9時30分~12時

※8月のココリラ体操は、講師の都合により中止となりました。

善意の灯

(令和5年5月11日~7月10日:敬称略)

一般寄付(金銭)

食生活改善推進協議会

会長 木村夢知子 3,000円

匿名 10,000円

匿名 10,000円

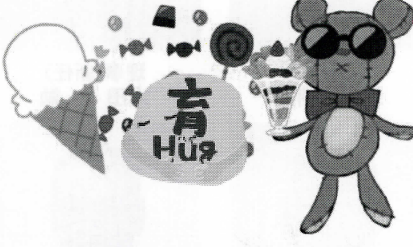
一般寄付(物品)

秋庭 啓子 プリンター1台

匿名 尿取りパット2袋

匿名 パラマウントベッド1台

育~Hug~開催日

8月	6日		見学会・駄菓子屋さん開催(無料)
	20日		
9月	10日		
	24日		
10月	8日		
	22日		
時間	9:00~16:00(滞在時間は自由)		
場所	保健福祉センター「鶴遊館」※のぼりが目印です。		
対象	小学生以上(保護者同伴可)		

ボランティアスタッフ見守りのもと、こども達に安心して過ごせる場所を提供することにより、大人もこどももつながりあい、地域でこどもを育むことを目的としています。

みんなで作るみんなの居場所
『育~Hug(ハグ)~』

つばやき

『じゃわめぐ心』

今年も田植え作業が終わり一段落した六月十日に山道町内会では、稲わらで「ムシ」を作り、集落外れの橋の欄干に取り付け五穀豊穣を願いました。当町内の「ムシ」は、柳の枝で長楕円形の輪を作りそれに稲わらを編み上顎と下顎を作り、舌は赤い布を使い頭に作り込みます。触覚は柳の枝に赤い布を巻き付け頭に挿入します。長さは約四メートルで、目玉は電球の頭に挿入し、黒く塗り、どこかひょうきんな「ムシ」の顔となつていきます。

かつては、この集落でもムシ送り行事がみられていた。また、「ムシ」の頭は木製で龍の形が多い中で、町内の「ムシ」は頭も稲わらで作る古来のムシづくりを踏襲しています。当町内のムシ送り行事は、永らく途絶えていましたが、東日本大震災の平成二十三年から行事が復活しました。久しぶりの「ムシ」作りとあって朝から活作業に取りかかり午後まで作業がずいぶん大変苦労しました。平成五年前後には、老人クラブが「ムシ」を作り、子ども会がリヤカーに「ムシ」を載せ登山陣子を作りました。演奏しながら町内を練り歩きました。それも長くつづきませんでした。

昔は集落の行事や祭りは、青年団が主体となり開催してきました。ムシ送りもその一つであります。寄付を集めるためムシ札を配布しながら毎戸訪問し、餅も若いうちの味を今でも忘れられませんが、私共も若い時には青年団活動を体験しましたが、青年団が消滅したことは非常に残念な気持ちです。今では、青年団以外にも、老人クラブや婦人会などの集落に根ざした地縁集団は数を減らしています。地域の活力が落ちてくるのではと懸念されています。

さて話は変わりますが今年も「じゃわめぐ」季節、ねぶたの時期を迎えます。三年のコロナ感染拡大により「じゃわめぐ」心も少しぼんやりとしたが、今年も漸く例年並みの態勢で開催されるようです。

「じゃわめぐ」心もねぶたの季節以外にも持ち続けたいものです。私も、青年時代と比べると、じゃわめぐ心も燃えさかるほどでないにしろ、くすぶり続ける火種を絶やさないように、ムシ送りや弥生画神楽の奉納三年に一回の岩木山神社お山参詣など農村地帯の伝統行事を守り継続し、次世代へバトンタッチしたいと思えます。(澁谷 信一)